

9月にやるべきこと

茗溪塾塾長 長谷 誠基

9月に入り夏の暑さも一段落という感じになってきました。東京オリンピック・パラリンピックもありましたが、塾の夏期講習も無事終わることができました。特にお盆の前に行われた夏期集中特訓にはたくさんの方に参加いただきました。本当にありがとうございます。4日間の通い型の特訓でしたが生徒の皆さんは意欲的に頑張ってくれました。アンケートの結果を見ても、勉強の参考になった+とても参考になったが合わせて90%以上になるなど、役に立つイベントにできたのではないかと思います。「受験生としての勉強法の体得」をテーマに、テストに向けてのやり直しの方法や暗記のやり方などを指導し、最終的には自分で問題と向き合い自分で解決する。これが今後非常に大切になってきます。是非もう一度振り返っていただければと思います。

さて、9月に入り塾では志望校別特訓や過去問ルームが始まり、外部の模擬試験なども本格化していきます。模擬試験は受けた後が重要で、間違えた問題のやり直しはもちろん、弱点分野の発見と克服に最大限活用するものですから、積極的に受けてほしいと思います。しかし、実際に模試を受けてみると思ったように点数が取れない。夏にあんなに頑張ったのにどうして？ということが多くあります。ここで、覚えておいていただきたいのが「夏の成果はすぐには出てこない」ということです。受験生は夏期講習では長い時間をかけて、今まで学習してきた内容を全て学びなおしています。今生徒たちの頭の中にはたくさんの知識、様々な問題の解き方がごちゃごちゃに入った状態になっています。そこで必要になるのが「夏を整理する」ということです。

受験生は特に入試までの日程を見ながら、あれもやらなくては、これもやらなくてはとあせってくるものです。9月から使用する新しい教材もあると思います。何をやっていいかわからないという状態にならないように、まずは自分の学習計画を作ってみてください。そして、その中に夏の復習の時間を是非入れてみてください。夏期講習で使用した教材は今までの内容がすべて入った教材ですので、総復習をするには最適なものになっています。しかも、一度やったものですので、短時間やるだけでも思い出していきます。そして再度覚えたものは、頭の中で整理されていき、なかなか忘れなくなっていくと思います。なんでまた同じものをやらなくてはいけないの？と思うかもしれませんが、これを少しでもやるかやらないかで、身につく割合がだいぶ変わってきてしまいます。

まだまだ間に合います。学習スケジュールの中に夏の復習時間を入れて成績の大きな飛躍を勝ち取りましょう。